

旧川根町と合併して以来、新市の都市戦略として、「大井川を軸とした地域づくり」を提唱し、島田市総合計画に掲げる将来都市像「人と産業・文化の交流拠点、水と緑の健康都市」の具現化に努めてまいりました。当年度につきましては、大井川流域における中心的な交流拠点都市としての施策の深化に努め、総合計画前期の仕上げの年に努めてまいります。

「大井川を軸とした地域づくり」にあたっては、大井川の恵みである水と緑、新東名高速道路島田金谷インターチェンジの供用や、国道1号島田金谷バイパスの4車線化によりさらに高まる地の利、

## ●平成24年度 市長施政方針

そして、他に誇りうる多彩な地域資源を活かしながら、分野を問わず組織横断的に交流施策を展開していくことが重要であります。また、こうした取り組みを進める中で、故郷を愛する市民の皆様の参画を得ながら、本市の魅力を地域内外に広く発信していくことが、本市の潜在的な力を引き出し、地域の活性化につながると考えております。

当年度は、都市提携50周年を経た米国リッチモンド市をはじめとした国外友好都市との多様な都市間交流を促進するとともに、韓国東豆川市との都市提携に向けて交流の促進を図ります。また、平成25年度開催の「世界茶まつり2013」に先駆け、海外プロモーションの展開や、中国からのインバウンドの促進に努めます。

そして、「金谷茶まつり」「大井川大花火大会」「S Lフェスタ2012」「しまだ大井川マラソンinリ

バティ」などの本市ならではの多彩な事業を展開し、野守の池については、イルミネーション・スポットとしての活用や、平成26年度の供用を目標とした川根温泉宿泊施設の建設に着手します。

さらに、地域づくりの新たなテーマである産学官の連携交流のため、大学誘致を進めます。また、まちなかの賑わい創出を目的として、中心市街地交流拠点施設が、本年夏に供用を開始するとともに、新病院の中心市街地への移転に向けて、計画の具体化に努めます。

これらの事業は、本市の将来に係る重要なテーマであり、その取り組みは緒に付いた段階にありません。ひとつひとつの課題に粘り強く取り組み、その歩みを着実に積み重ねて、市勢の発展を成就していくことが、市民の皆様への付託にこたえる道であると確信しております。

満開の桜（河原町の桜堤）



# 特集 平成24年度市の予算の重点 交流／防災／中山間地の振興／まちの建設

市議会2月定例会において、平成24年度当初予算が可決されました。一般会計、特別会計および企業会計の総額は69.8億395万円で、前年度と比較し、35億9230万円、54%の増となりました。本年度の予算では、健全な財政運営を念頭に「交流」「防災」「中山間地域の振興」「まちの建設」を重点とした諸施策により市の総合計画を推進し、市民福祉の向上を目指してまいります。

問 財政課 ☎36・7123



広報しまだ

# Shimada

2012  
**4**  
vol.166

目次 — CONTENTS —

- 2 特集:平成24年度当初予算
- 10 市政あらかると:災害廃棄物講演会/もしもの安心ノート/消防団協力事業所 ほか
- 12 まちの話だいい川根・北中野球部が優勝/慶寿寺のしだれ桜/金谷のカタクリ ほか
- 14 しまだ情報
- 17 スポーツ INFO
- 18 暮らしのシグナル
- 19 図書館だより
- 20 けんこうナビ:特定不妊治療費助成制度の変更/ポリオ予防接種/フッ素洗口 ほか
- 24 便利帳/彩りもう一品
- 26 掲示板/みんなのひろば
- 28 しまだ人:増田宜春さん

表紙 — COVER STORY —

4月28日(土)から、中央公園のミニ鉄道施設を、本物そっくりな新幹線N700系が走り出します。



### 中山間地域の振興



川根温泉「ふれあいの泉」

中山間地域の住民が将来にわたって安心して住み続けられる地域として新たに作り住む人が増加していくよう、生活基盤の充実を図ります。

- ◎川根・定住促進住宅建設事業【新規事業】3,323万円  
川根地域の人口増加を図るため、平成24年度・25年度の2カ年で定住促進住宅を建設します。
- ◎川根温泉宿泊施設建設事業 6,167万円  
大井川流域の観光交流拠点施設として宿泊施設を整備し、地域産業の振興、雇用の創出および定住化の促進を図ります。平成23年度から26年度にかけて実施しています。
- ◎川根小学校校舎改築事業【新規事業】650万円  
建築後41年が経過し老朽化した校舎を現在の児童数にあわせた適正な規模の校舎に建て替えます。平成24年度から27年度までの4カ年事業です。
- ◎野守の池周辺整備、イルミネーション事業 4,212万円  
川根地域の観光資源である野守の池の外周に散策道などを整備します。また、23年度に設置したイルミネーションをさらに増設し、観光客数の増大を図ります。



島田金谷インターチェンジ

- ◎東町御請線整備事業 3億9,386万円  
六合地区内の東西を結ぶ幹線道路を整備します。平成24年度から28年度までの5カ年事業です。
- ◎横井中央線整備事業（大津通・中河町工区）4億7,633万円  
中心市街地を南北に結ぶ幹線道路として、また災害発生時の避難路としての機能を確保するための整備を進めます。平成21年度から25年度までの5カ年事業です。
- ◎中心市街地交流拠点施設整備事業 15億2,387万円  
中心市街地の活性化のため、新島田ショッピングビルの1階の一部と2階から4階までのフロアを取得し、「こども館」と「新図書館」を整備するための内装工事や備品購入などを行います。
- ◎大草住宅建設事業（第4期工事） 2億8,339万円  
老朽化した市営住宅対策のため、平成23年度・24年度の2カ年で1棟24戸の住宅を建設しています。
- ◎学校給食共同調理場整備事業【新規事業】3,316万円  
老朽化した東部・西部・北部・金谷の4共同調理場を統合し、新規に共同調理場を整備します。平成24年度から26年度までの3カ年事業です。

### 交流

お茶・温泉・SLといった全国に誇れる地域資源の魅力を国内外に広く発信するとともに、交流拠点施設整備や高速情報化の基盤整備を行い、「人・もの・情報」の多様な交流の拡大を目指します。



SLフェスタ2012

- ◎友好都市提携・交流事業 1,211万円  
米国リッチモンド市、中国湖州市 提携25周年  
そのほか韓国・東豆川(トンドゥチョン)市との交流創出を図ります。
- ◎金谷茶まつり事業費補助 1,100万円  
金谷茶まつりの振興のため、事業費の一部を補助します。
- ◎中心市街地交流拠点施設供用開始(こども館・図書館)【新規事業】9,318万円  
中心市街地に新たにオープンするこども館・図書館の運営経費です。
- ◎金谷地区光ファイバ網整備補助事業【新規事業】9,905万円  
北五和地区を除く金谷地区への光ファイバ網整備事業に対し補助金を交付します。
- ◎家族と地域の時間づくり推進事業/SLフェスタ運営経費 997万円  
10月5日(金)を重点実施日として、市内の小・中学校などを休みとする予定です。これに合わせて開催するSLフェスタ2012の運営経費の一部を負担します。

### まちの建設

富士山静岡空港や新東名高速道路の結節点としての地の利を地域経済の活性化に生かし、幹線道路や新たな交流拠点の施設整備を推進していきます。



総合防災訓練(消防団)

- ◎防災メール配信システム導入事業【新規事業】270万円  
同報無線の内容や緊急情報について、登録した市民へメール配信するシステムを導入します。
- ◎川根地区洪水ハザードマップ作成事業【新規事業】400万円  
川根地域の洪水ハザードマップを作成し、水害による被害の軽減を図ります。
- ◎住宅用火災報知機設置推進事業【新規事業】1,343万円  
住宅用火災報知機の設置状況について訪問調査を実施します。
- ◎静岡地域消防救急広域化事業 745万円  
平成28年度から広域化を予定している静岡地域3市2町(静岡市・牧之原市・吉田町・川根本町・島田市)において、消防救急無線デジタル化および消防総合システム整備事業などを共同で実施します。
- ◎デジタル防災通信システム整備事業(行政無線)【新規事業】2億8,198万円

### 防災

東日本大震災では、被災地の多くの自治体が行政機能を喪失し、市民生活は大きく混乱しました。東海地震の切迫性が指摘される中、災害などの被害を最小限に抑えるため、防災・減災対策に取り組めます。

# Budget

## 平成24年度主要事業

### ③ 産業がいきいきと活発なまち

～農林業、工業、商業、観光の振興～

- がんばる認定農業者支援事業【新規事業】 2,000万円
- 中山間地域等直接支払事業 2,147万円
- 木材需要促進事業 3,034万円
- 工業用地アクセス道路整備事業 1,800万円
- 大井川流域観光客誘致事業【新規事業】 156万円
- 野守の池イルミネーション設置事業等観光協会補助金 6,300万円

### ② 市民が安全・安心に暮らせるまち

～消防・救急、防災、交通安全、防犯～

- 消防団詰所整備事業（第8分団2部） 118万円
- 消防団ポンプ車更新事業（2台） 3,539万円
- 消防通信指令システム整備事業 1億1,999万円
- 初倉分遣所救急車更新事業 2,900万円
- 木造住宅耐震補強助成事業 3,707万円
- 同報無線屋外子局設置事業 925万円

### ① 都市生活基盤が充実し、ひとやもの、

情報が活発に交流するまち

～物流・交流拠点の形成、道路整備、公共交通、地域情報化～

- バリアフリー対策事業（JR金谷駅）【新規事業】 735万円
- コミュニティバス運行管理経費（11路線） 2億3,312万円
- 谷口中河線改良事業 1億2,664万円
- 色尾大柳線改良事業 7,541万円
- 南原団地浸水対策事業 2,672万円
- 空港周辺プロジェクト推進事業 1,111万円
- 市営霊園管理運営事業【新規事業】 116万円

総合計画の7つの施策に沿って  
重要施策で紹介した以外の主な  
事業を紹介



総合防災訓練（自主防災会）



島田第三小学校図書室整備



島田市博物館



田代環境プラザ



子育てサークル



野守の池イルミネーション



消防出初め式



富士山静岡空港

### ⑦ 市民と行政がともに創る、 活気に満ちたまち

～市民参加のまちづくり、

男女共同参画、行財政の効率化～

- 自治会活動支援事業 1,000万円
- 町内会組織助成金 6,275万円

### ⑥ 人を育て、歴史を大切に 新しい文化を創造するまち

～学校教育、生涯学習、スポーツ振興、

文化保存～

- 幼稚園民営化事業【新規事業】 3,107万円
- 教科書改訂等教材購入経費 3,634万円
- 田代の郷陸上競技場整備事業 1億4,000万円
- お茶の郷管理運営経費 9,112万円
- 諏訪原城跡整備事業 1,491万円
- 博物館収蔵品等デジタルアーカイブ化事業【新規事業】 910万円

### ⑤ 自然と共生する資源循環型のまち

～環境対策、循環型社会の推進～

- 太陽エネルギー利用促進事業【新規事業】 600万円
- リサイクル事業 2億1,559万円
- 田代環境プラザ運営経費 6億7,315万円

### ④ だれもが健やかで幸せに暮らせる 健康・福祉のまち

～子育て、高齢者福祉、健康づくり、

地域医療～

- 障害者計画策定事業【新規事業】 386万円
- 特定不妊治療費助成事業 2,562万円
- 子ども手当などの手当扶助費 17億2,973万円
- こども医療扶助費 2億7,346万円
- 放課後児童クラブ施設整備事業 3,006万円
- 後期高齢者医療療養給付費等負担金 7億9,692万円
- 病院事業会計への繰出金 9億3,193万円

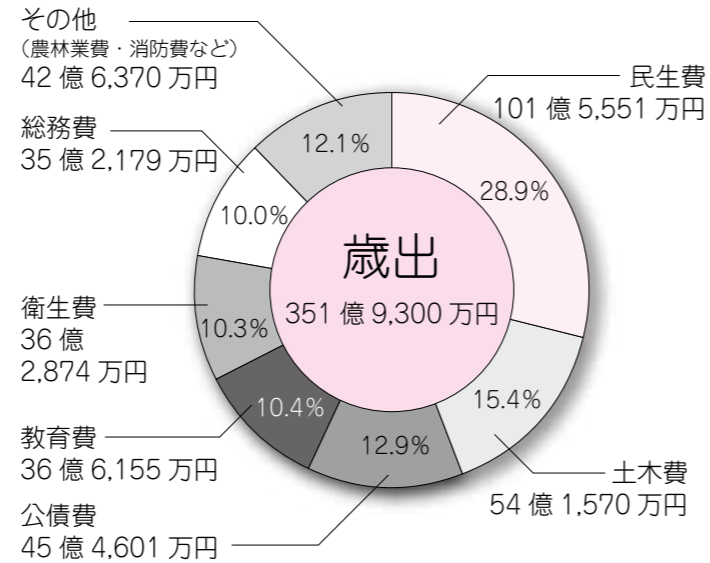
## 平成24年度一般会計 前年対比 +21億700万円 +6.4%

# 351億9,300万円

### 歳出の性質別構成比率

性質	費目	構成比
消費的経費 63.0%	人件費	19.8%
	扶助費	16.4%
	物件費	16.4%
	補助費等	9.7%
	維持補修費	0.7%
投資的経費 16.4%	普通建設事業費	16.3%
	災害復旧事業費	0.1%
その他の経費 20.5%	公債費	12.9%
	繰出金	6.6%
	投資及び出資金等	1.0%
予備費	0.1%	0.1%

### 歳出の内訳



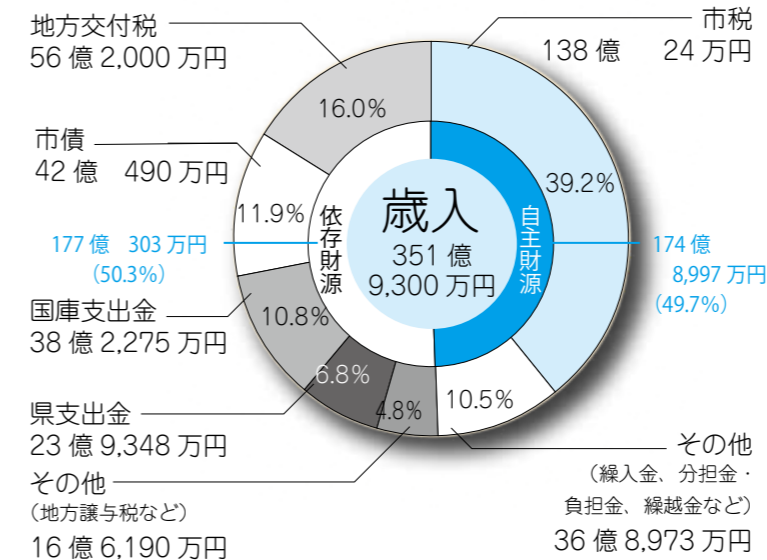
#### 【歳出】

予算の約15%を占める土木費については、中心市街地交流拠点施設整備や幹線道路の整備・改良事業により、前年度に比べ18億530万円、50.0%の増となっています。

また、消防費についても、防災行政無線のデジタル化などにより、前年度と比べ5億72万円、30.8%の増となっています。

約3割を占める民生費については、子ども手当の制度改革などのため、前年度に比べ4,460万円、0.4%の減となっています。

### 歳入の内訳



#### 【歳入】

主な収入である自主財源の市税については、景気低迷の影響が引き続き懸念されるものの、税制改正による個人市民税の増などにより前年度に比べ2億4,889万円、1.8%の増を見込んでいます。

依存財源である地方交付税は前年度に比べ6,000万円、1.1%の増を見込んでいます。また地方特例交付金については、子ども手当特例交付金の廃止により、前年度に比べ1億4,210万円、68.6%の減となっています。

### 会計別予算額

一般会計は、まちづくりや福祉、教育など、全般的な市の事業を行うための会計です。

特別会計は、保険料など特定の収入で事業を行う会計で、国民健康保険事業など8つの会計を設けています。

企業会計は、事業収入により運営する会計で、水道事業と病院事業があります。

会計名	予算額	前年度対比
I 一般会計	351億9,300万円	6.4%
II 特別会計	194億5,589万円	7.4%
国民健康保険事業	96億8,241万円	10.6%
簡易水道事業	1億3,823万円	40.6%
土地取得事業	5億554万円	5.1%
休日急患診療事業	1,348万円	2.8%
公共下水道事業	8億9,529万円	5.9%
介護保険事業	70億8,316万円	2.4%
介護サービス事業	6,459万円	△0.2%
後期高齢者医療事業	10億7,320万円	13.9%
III 企業会計	151億5,506万円	1.0%
水道事業	14億9,073万円	4.7%
病院事業	136億6,434万円	0.6%
合計	698億395万円	5.4%

※ 端数処理をしているため、表内不整合箇所があります。

### 市債年度末残高見込

区分	残高見込額		増減率
	平成23年度末	平成24年度末	
一般会計	430億8,026万円	434億3,455万円	0.8%
国民健康保険事業	2億円	2億円	0%
簡易水道事業	2億3,697万円	2億4,113万円	1.8%
公共下水道事業	46億8,132万円	45億8,082万円	△2.1%
水道事業	14億9,927万円	14億1,768万円	△5.4%
病院事業	33億5,512万円	29億9,312万円	△10.8%
合計	530億5,294万円	528億6,729万円	△0.3%

### 用語の解説

#### 【歳入の部】

自主財源：市が独自に収入するもの

依存財源：国・県などから交付されるもの

市税：市民税、固定資産税など、市に納められた税金

繰入金：基金の取り崩しや他会計から入れるお金

分担金及び負担金：保育所入園者の負担金など

地方交付税：市町村の実状に合わせて国から交付されるもの

市債：市が借り入れるお金

国庫(県)支出金：(国) (県)からの補助金、負担金など

#### 【歳出の部】

民生費：児童、高齢者、障害者福祉などの経費

土木費：道路、河川、公園、市営住宅の整備などの経費

公債費：借入金(市債)の返済金と利子

教育費：学校教育や生涯学習などの経費

衛生費：保健活動やごみ処理などの経費

総務費：戸籍・住民登録や電算システム、庁舎の維持管理などの経費

その他の支出：議会費、農林業費、商工費、消防費、災害復旧費、予備費など

#### 【性質別の部】

扶助費：生活扶助、教育扶助など

物件費：施設の保守管理、一般事務経費

普通建設事業費：道路の新設、改良や施設の新増築などの経費

災害復旧事業費：台風などで被害を受けた施設の復旧のための経費

繰出金：一般会計から特別会計への負担金など